

Garoon 4.x デヂエ連携ガイド

第4.1版

サイボウズ株式会社

はじめに

本書は、次の製品を連携する場合に必要な設定や操作を説明しています。

- バージョン 4.10.xのパッケージ版 Garoon
- バージョン 8.0.2以降のサイボウズ デヂエ

本書で使用している表記

本書では、次の表記を使用しています。

表記	意味
注意	操作に注意が必要な事項や制限事項
補足	操作の補足説明や別の操作方法、知っていると便利な情報
[]	画面上のボタン、リンク、またはタブ
- ##ページ	参照先のページ

本書で使用している製品名称と略称

本文中、各製品名称は次のように表記します。

略称	製品名
Garoon	Garoon バージョン 4.10.0以降
デヂエ	サイボウズ デヂエ バージョン 8.x.x
Office	サイボウズ Office バージョン 8.0.x

本書の取り扱いについて

この文書内における掲載情報の二次利用においては、ご自身の判断と責任の下に行ってください。

サイボウズ株式会社は、それらの情報をご利用になることにより発生したあらゆる商業的損害・損失を含め一切の直接的、間接的、特殊的、付随的または結果的損失、損害について責任を負いません。

また、本文書を二次利用し作成した文書には、次のような当社の著作権表示文を記載してください。

「本文書は、サイボウズ株式会社による『Garoon 4.x デヂエ連携ガイド』を一部引用しています。」

商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。

個別の商標・著作物に関する注記については、弊社のWebサイトを参照してください。

<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>

なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

- OpenSSL (Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.)
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(<http://www.openssl.org/>)
This product includes cryptographic software written by Eric Young
(eay@cryptsoft.com)
This product includes software written by Tim Hudson
(tjh@cryptsoft.com)

目次

はじめに	2
目次	3
1章 デチエ連携について	4
1.1 デチエ連携の概要	4
1.2 連携に必要な条件	4
1.3 連携仕様	5
2章 ユーザー情報を同期する	7
2.1 ユーザー情報の同期を設定する前に	7
2.2 ユーザー情報の同期を設定する	9
3章 デチエポートレットを使用する	12
3.1 デチエポートレットを使用するまでの流れ	12
3.2 システム管理者が行う設定	12
3.2.1 デチエポートレットの使用を許可する	12
3.3 ライブラリ管理者が行う設定	14
3.3.1 ライブラリに Garoon ポートレットを設定する（デチエでの操作）	14
3.4 ユーザーが行う操作	16
3.4.1 My ポータルにデチエポートレットを追加する	16
3.4.2 システムポータルにデチエポートレットを追加する	18
付録A コマンドラインでユーザー情報を同期する	20
付録B ログの出力仕様	22
付録B.1 出力されるログ	22
付録C エラーメッセージ一覧	24

1章 デヂエ連携について

デヂエ連携の概要や、連携に必要な条件などを説明します。

1.1 デヂエ連携の概要

Garoonをデヂエと連携すると、Garoonのユーザー情報および組織情報をデヂエに同期できます。また、デヂエのライブラリをGaroonのポートレットで表示できます。

デヂエ:



- ・ユーザー情報
- ・組織情報

←
→
ライブラリの
ポートレット表示

Garoon:



注意

- ・デヂエの画面や、Garoonの画面に表示されるデヂエのメニューやボタンなどは、日本語でのみ提供されています。

補足

- ・「サイボウズ デヂエ 8 for ASP」とは、デヂエ連携を設定できません。
- ・Garoonのタイムゾーンの設定は、デヂエには適用されません。
- ・統合 Windows 認証を使用している環境で、デヂエ連携を利用できない場合があります。対処方法は次のページを参照してください。
<https://kb.cybozu.support/article/29725/>

1.2 連携に必要な条件

Garoonをデヂエと連携するためには、次の条件をすべて満たしている必要があります。

- ・バージョン 2.5.3以降のGaroon、および、バージョン 8.0.2以降のデヂエを使用している
- ・両製品をインストールしたサーバーが、互いにFQDN(完全修飾ドメイン名)で名前解決できる
- ・両製品をインストールしたサーバーが、すべて同一のドメインに存在する

補足

- ・同一のサーバー内にGaroonとデヂエをインストールしている場合は、FQDNの設定は必要ありません。

1.3 連携仕様

同期する情報とデヂエポートレットの仕様を説明します。

同期する情報について

デヂエ連携を設定すると、Garoonの次の情報をデヂエに同期できます。

Garoonの情報	同期する項目	補足
ユーザー情報	ログイン名 名前 E-mail 所属する組織	<ul style="list-style-type: none"> Garoonとデヂエで同じログイン名を使用している場合： Garoonのユーザー情報をデヂエに反映します。 Garoonのみにログイン名が存在する場合： デヂエに不足しているユーザーを追加します。追加されるデヂエのユーザー情報は、Garoonのユーザー情報を使用します。 デヂエのみにログイン名が存在する場合 Garoonに存在しないユーザーをデヂエから削除します。
組織情報	組織名 組織コード 組織に所属するユーザー	<ul style="list-style-type: none"> Garoonとデヂエで同じ組織コード(デヂエではグループコード)を使用している場合： Garoonの組織情報をデヂエに反映します。 Garoonのみに組織コードが存在する場合： デヂエに不足しているグループを追加します。 デヂエのみにグループコードが存在する場合： Garoonに存在しないデヂエのグループを削除します。

デヂエ連携の同期には、次の制限事項があります。

- GaroonのAdministratorは、デヂエに追加されません。
- 削除対象のユーザーがいる状態で、ユーザー情報の同期を行った場合、Garoonで削除対象のユーザーを復旧しても、デヂエには反映されません。
- Garoonのユーザー名の英語表記やローカライズに関する情報は、デヂエに同期されません。

ユーザー情報の同期に関する注意事項は、次のページを参照してください。

「Garoonとデヂエのユーザー情報を同期させる場合の注意事項」 - 9ページ

補足

- Garoonの組織名は、Garoonの初期設定で設定した言語の表示名でデヂエに同期されます。組織の表示名に初期設定の言語の表示名が設定されていない場合は、標準の組織名でデヂエに同期されます。

デヂエポートレットについて

デヂエ連携を設定すると、「デヂエポートレット」を使用できます。

デヂエポートレットの例:



a) b)

デヂエ					
備品管理 <input type="checkbox"/> レコードを登録する					
	種別	商品名	入・出荷	在庫確認・入荷日	備考
 <input checked="" type="checkbox"/>	文房具	ポストイット (5cm×5cm)	-5	2017/4/30	
 <input checked="" type="checkbox"/>	文房具	ポストイット (5cm×5cm)	10	2018/4/10	
 <input checked="" type="checkbox"/>	文房具	ボールペン (赤×20本)	-1	2018/3/30	
 <input checked="" type="checkbox"/>	文房具	ボールペン (黒×20本)	10	2017/3/10	新入社員用に多めに発注
 <input checked="" type="checkbox"/>	文房具	ボールペン (黒×20本)	-3	2018/2/28	

c) d)

- a): デヂエの「レコード一覧」画面を表示します。
- b): ライブラリにレコードを登録します。
- c): デヂエの「レコード詳細」画面を表示します。
- d): デヂエの「レコードの編集」画面を表示します。

補足

- ライブラリ管理者の設定によって、アイコンが表示されない場合があります。
- ユーザーに付与された権限によって、表示されるアイコンが異なります。
 - ライブラリに対して書き込み権限がない場合は、[レコードを登録する]が表示されません。
 - ライブラリに対して編集権限がない場合も、 が表示されます。編集権限がないユーザーが をクリックすると、権限がないことを示すエラーメッセージが表示されます。ライブラリは編集できません。

2章 ユーザー情報を同期する

Garoonのユーザー情報を、すでに運用中のデヂエに同期する場合は、同期を設定する前に準備が必要です。必要な準備は、Garoonを新規に運用する場合と、Garoonがすでに運用中の場合で異なります。

注意

- ユーザー情報は、Garoonを運用しているサーバーのシステム時間とタイムゾーンに合わせて同期されます。

2.1 ユーザー情報の同期を設定する前に

「サイボウズ Office 8 plus デヂエ」を使用している場合は、作業前にデヂエに移行します。

Garoonとデヂエに、同一のユーザーと組織(グループ)を登録します。

「Office」と連携している場合は連携を解除します。

Garoonを新規に運用する場合

操作手順:

1 「Office」とユーザー情報を連携しない設定に変更します。

「Office」と連携していない場合は、手順2に進みます。

次のどちらかの条件を満たす場合は、「Office」とユーザー情報を連携しない設定に変更します。

- デヂエと「Office」でユーザー情報を連携している
- 「サイボウズ Office 8 plus デヂエ」を使用している

変更手順は、次のとおりです。

- 1) デヂエの「システム設定」画面で、[ユーザー管理] > [ユーザー情報の連携]の順にクリックします。
- 2) 「ユーザー情報の連携 - Step 1/2」画面で「ユーザー情報を連携しない」を選択し、[次に、設定内容を確認する>>]をクリックします。
- 3) 「ユーザー情報の連携(ユーザー情報の取り込み) - Step 2/2」画面で[設定する]をクリックします。

2 デヂエに登録された各グループに、グループコードを設定します。

設定手順は、次のとおりです。

- 1) デヂエの「システム設定」画面で、[ユーザー管理] > [グループ]の順にクリックします。
- 2) 各グループの[変更する]をクリックし、グループコードを入力して[変更する]をクリックします。

補足:

- CSVファイルを使用すると、グループコードを一括で設定できます。

3 Garoonに、デヂエに登録されているユーザーおよびグループを追加します。

デヂエの各グループは、Garoonでは組織として登録します。

次の項目は、Garoonとデヂエで同一の値を設定します。

2章 ユーザー情報を同期する

- ユーザーのログイン名および名前
 - 組織コード(デヂエではグループコード)
- 「Garoonとデヂエのユーザー情報を同期させる場合の注意事項」 - 9 ページ

4 手順3で追加した各組織に、デヂエに登録された各グループに所属するユーザーを追加します。

各組織に所属するユーザーは、Garoonとデヂエで揃えます。

デヂエに登録された各グループに所属するユーザーは、「フォルダのアクセス権の設定」画面などで確認できます。

Garoonがすでに運用中の場合

操作手順:

1 「Office」とユーザー情報を連携しない設定に変更します。

次のどちらかの条件を満たす場合は、「Office」とユーザー情報を連携しない設定に変更します。

- デヂエと「Office」でユーザー情報を連携している
- 「サイボウズ Office 8 plus デヂエ」を使用している

変更手順は、次のとおりです。

- 1) デヂエで、[システム設定] > [ユーザー管理] > [ユーザー情報の連携]の順にクリックします。
- 2) 「ユーザー情報の連携 - Step 1/2」画面で「ユーザー情報を連携しない」を選択し、「連携先の製品からユーザー情報を取り込む」の選択が外れていることを確認して、[次に、設定内容を確認する>>]をクリックします。
- 3) 「ユーザー情報の連携 - Step 2/2」画面で[設定する]をクリックします。

2 Garoonとデヂエで、ユーザーのログイン名および名前が同一であることを確認します。

同一でない場合は、Garoonとデヂエで、ユーザーのログイン名と名前を揃えます。名前は、デヂエに登録された名前に揃えます。

「Garoonとデヂエのユーザー情報を同期させる場合の注意事項」 - 9 ページ

3 デヂエに登録された各グループに、グループコードを設定します。

各グループのグループコードは、Garoonの組織コードと揃えます。

「Garoonとデヂエのユーザー情報を同期させる場合の注意事項」 - 9 ページ

設定手順は、次のとおりです。

- 1) デヂエで、[システム設定] > [ユーザー管理] > [グループ]の順にクリックします。
- 2) 各グループの[変更する]をクリックし、グループコードを入力して[変更する]をクリックします。

補足

- CSVファイルを使用すると、グループコードを一括で設定できます。

Garoonとデヂエのユーザー情報を同期させる場合の注意事項

Garoonとデヂエに設定された値が異なると、デヂエのデータが削除されたり、設定が削除されたりします。一致しない情報を同期した場合の影響は、次のとおりです。

一致しない情報	デヂエへの影響	備考
ユーザーのログイン名	1) Garoonのみに存在する場合： デヂエに不足しているユーザーを追加します。 追加されるデヂエのユーザー情報は、Garoonのユーザー情報を使用します。 2) デヂエのみに存在する場合： Garoonに存在しないユーザーをデヂエから削除します。	2) の場合、削除されるユーザーに対する次の設定も削除されます。 <ul style="list-style-type: none"> • システム管理者 • サポート登録者 • ライブラリ管理者 • アクセス権 • メール通知 • RSS通知の表示ユーザー • デフォルトビュー • ユーザーの「個人設定」画面で設定された「1画面に表示するレコードの件数」や「Myリンク」
ユーザーの名前	同期すると、Garoonの情報がデヂエに反映されるため、同期前のユーザーの名前で設定した内容が正常に動作しない場合があります。	正常に動作しない場合がある設定は、各ライブラリの次の設定です。 <ul style="list-style-type: none"> • 「レコード登録者のアクセス権」の設定 • レコード登録者へのメール通知の設定
組織コードとグループコード	1) Garoonのみに存在する場合 デヂエに不足しているグループを追加します。 2) デヂエのみに存在する場合 Garoonに存在しないデヂエのグループを削除します。	2) の場合、削除されるグループに対する次の設定も削除されます。 <ul style="list-style-type: none"> • システム管理者 • ライブラリ管理者 • アクセス権 • デフォルトビュー

注意

- ユーザー情報を同期後にGaroonの組織コードを変更する場合は、デヂエのグループコードをあわせて変更する必要があります。
Garoonのみ変更すると、デヂエのグループが削除されます。

2.2 ユーザー情報の同期を設定する

Garoonとデヂエでユーザー情報を同期するための準備と設定方法を説明します。

注意

- ユーザー情報の同期を設定する前にあらかじめデヂエのデータをバックアップする必要があります。同期したデヂエのユーザー情報は、元に戻せません。
- ユーザー情報の同期でデヂエに追加されたユーザーのパスワードには、ランダムな文字列が設定されています。必要に応じて、システム管理者または各ユーザーがパスワードを変更します。各ユーザーでパスワードを変更する場合は、あらかじめGaroonにログインすることで、パスワードを入力せずにデヂエにログインできます。

Garoonとデヂエでの準備

操作手順:

1 必要な準備を行います。

Garoonのユーザー情報を、すでに運用中のデヂエに同期する場合は、同期を設定する前に準備が必要です。

「2.1ユーザー情報の同期を設定する前に」 - 7ページ

2 Garoonとデヂエに、オープン統合認証 ver.2を設定します。

ユーザー情報を同期する場合は、必ず両製品に「オープン統合認証 Ver.2」を設定します。

すでにオープン統合認証ver.2を設定している場合は、「Garoonでの操作」に進みます。

参照マニュアル:

『サイボウズ デヂエ8 マニュアル』 - 連携認証を設定する

<https://manual.cybozu.co.jp/dezie8/admin/usercommonauth.html>

『Garoon 4.x 管理者ガイド』 - セッション認証を管理する

<https://jp.cybozu.help/ja/g410/admin/system/authenticate/session.html>

次の項目は、Garoonとデヂエで同一の値を設定する必要があります。

- Cookie名
- 認証パスワード
- 発行ドメイン

3 Garoonとデヂエからログアウトします。

Garoonでの操作

Garoonで行う操作は次のとおりです。

操作手順:

1 「システム管理」画面で、[各アプリケーションの管理] > [デヂエ連携] > [デヂエ連携の設定]の順にクリックし、[変更する]をクリックします。

2 「デヂエ連携の変更」画面で各項目を入力し、[変更する]をクリックします。

「デヂエ連携の変更」画面の設定項目

項目	項目説明
連携	デヂエ連携を使用するかどうかを選択します。 「使用しない」を選択すると、Garoonとデヂエのユーザー情報の同期が解除され、他の項目の設定は無効になります。
デヂエURL	連携するデヂエのURLを入力します。
ユーザー情報の自動同期	ユーザー情報の自動同期を設定するかどうかを選択します。 「同期する情報について」 - 5ページ 「設定する」を選択した場合、同期の繰り返し条件を設定します。 ユーザー情報は、手動でも同期できます。 「ユーザー情報を手動で同期する（Garoonでの操作）」 - 11ページ
デヂエポートレットの使用許可	ユーザーのデヂエポートレットの使用を許可するかどうかを選択します。 「3.2.1デヂエポートレットの使用を許可する」 - 12ページ

ユーザー情報を手動で同期する（Garoonでの操作）

ユーザー情報を手動で同期する手順は、次のとおりです。

補足

- ユーザー情報を手動で同期する前に、あらかじめユーザー情報の同期を設定する必要があります。
「2章 ユーザー情報を同期する」 - 7ページ
- デヂエ連携の設定で「ユーザー情報の自動同期」を設定している場合は、ユーザー情報は指定された時間に自動で同期されます。
「2.2 ユーザー情報の同期を設定する」 - 9ページ
- コマンドラインを使用して、ユーザー情報を同期できます。
「付録A コマンドラインでユーザー情報を同期する」 - 20ページ

操作手順:

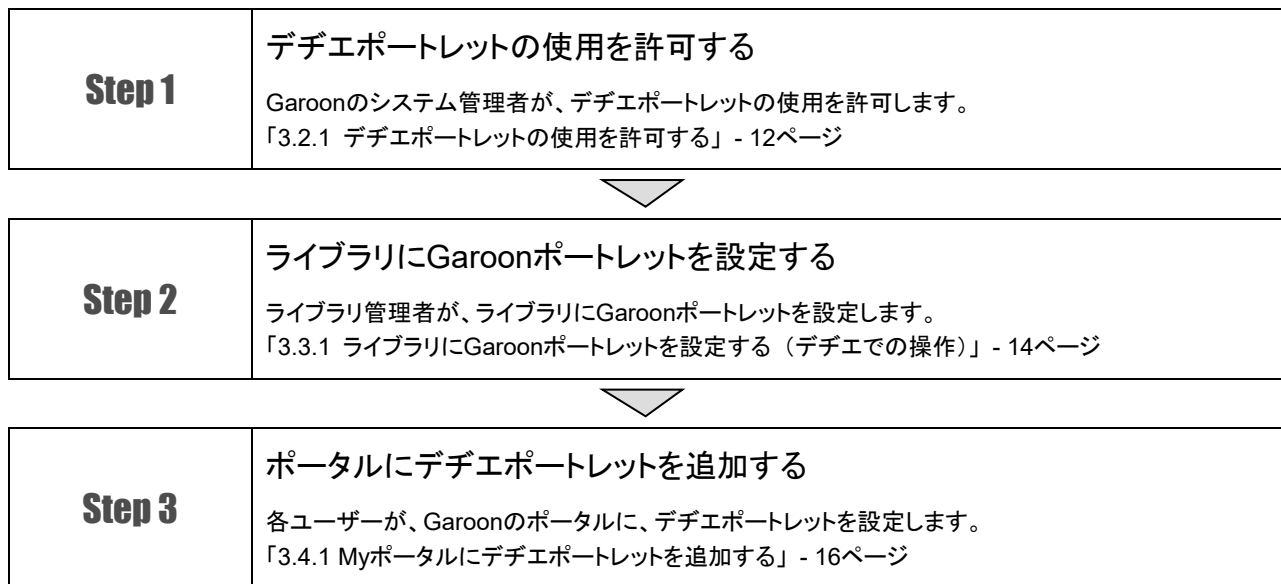
- 1 「システム管理」画面で、[各アプリケーションの管理] > [デヂエ連携] > [デヂエ連携の設定]の順にクリックします。
- 2 [手動で同期する]をクリックし、「ユーザー情報の同期」画面で[はい]をクリックします。

3章 デヂエポートレットを使用する

Garoonのポータルにデヂエポートレットを追加し、デヂエのライブラリを利用できるように設定します。

3.1 デヂエポートレットを使用するまでの流れ

Garoonのポータルに、デヂエポートレットを追加するまでの流れを説明します。



3.2 システム管理者が行う設定

ユーザーがGaroonでデヂエポートレットを使用できるようにするために、システム管理者が行う操作を説明します。

3.2.1 デヂエポートレットの使用を許可する

デヂエポートレットを使用する場合は、システム管理者がデヂエポートレットの使用を許可する必要があります。

Garoonとデヂエでの準備

操作手順:

- 1 Garoonとデヂエに、オープン統合認証 ver.2を設定します。
設定手順については、各製品の管理者マニュアルを参照してください。
すでにオープン統合認証 ver.2を設定している場合は、「Garoonでの操作」に進みます。

次の項目は、Garoonとデヂエで同一の値を設定する必要があります。

- Cookie名
- 認証パスワード
- 発行ドメイン

2 Garoonとデヂエからログアウトします。

Garoonでの操作

操作手順:

- 1 「システム管理」画面で、[各アプリケーションの管理] > [デヂエ連携] > [デヂエ連携の設定]の順にクリックし、[変更する]をクリックします。
- 2 「デヂエ連携の変更」画面で各項目を入力し、[変更する]をクリックします。

「デヂエ連携の変更」画面の設定項目

項目	項目説明
連携	デヂエ連携を使用するかどうかを選択します。 「使用しない」を選択すると、Garoonとデヂエのユーザー情報の同期が解除され、他の項目の設定は無効になります。
デヂエURL	連携するデヂエのURLを入力します。
ユーザー情報の自動同期	ユーザー情報の自動同期を設定するかどうかを選択します。 「2章 ユーザー情報を同期する」 - 7ページ
デヂエポートレットの使用許可	ユーザーのデヂエポートレットの使用を許可するかどうかを選択します。 「許可する」を選択した場合、キャッシュの保存期間を設定します。 キャッシュの保存期間には、ポータルが表示時にデヂエポートレットの表示を更新する間隔を指定します。 保存期間を長く指定すると、デヂエポートレットの表示にライブラリの更新が反映されるまでに時間がかかる場合があります。また、保存期間を短く指定すると、デヂエポートレットの表示に時間がかかる場合があります。

補足

- デヂエポートレットの使用を許可すると、「ポートレットの追加」画面にデヂエポートレットが追加されます。
「デヂエポートレットについて」 - 5ページ

3.3 ライブラリ管理者が行う設定

ユーザーがデヂエポートレットの使用を開始できるようにするために、デヂエのライブラリ管理者が行う操作を説明します。

3.3.1 ライブラリにGaroonポートレットを設定する（デヂエでの操作）

ライブラリにGaroonポートレットを設定する手順は、次のとおりです。

操作手順:

- 1 「ライブラリ管理」画面で、[ライブラリの基本設定] > [ガルーンポートレット]の順にクリックします。
- 2 「ガルーンポートレットの設定」画面で、[追加する]をクリックします。
- 3 「ガルーンポートレットの追加」画面で、それぞれの項目を入力し、[追加する]をクリックします。
「ガルーンポートレット一覧」画面に、設定したGaroonポートレットが追加されます。

「ガルーンポートレットの追加」画面の設定項目

項目	項目説明
ポートレット名	ポートレット名を入力します。
表示内容	ポートレットの表示内容を選択します。 「集計」は、「集計」を設定しているライブラリのみ表示されます。
絞り込み	ポートレットで表示するレコードを絞り込む場合は、選択します。
ソート順	ポートレットで表示するレコードのソート順を選択します。
表示レコード数	ポートレットで表示するレコードの数を選択します。
レコード登録	ポートレットにレコードの登録ボタンを表示する場合は、選択します。

例: 次のように設定した場合のデジエポートレット

- ポートレット名 : 備品管理
- 表示内容 : レコード一覧ビュー(すべて)
- 絞り込み : 文房具
- ソート順 : 更新日時(降順)
- 表示レコード数 : 5
- レコード登録 : ボタンを表示する

デジエ					
備品管理 <input checked="" type="checkbox"/> レコードを登録する					
	種別	商品名	入・出荷	在庫確認・入荷日	備考
		文房具	ポストイット (5cm×5cm)	-5 2017/4/30	
		文房具	ポストイット (5cm×5cm)	10 2018/4/10	
		文房具	ボールペン (赤×20本)	-1 2018/3/30	
		文房具	ボールペン (黒×20本)	10 2017/3/10	新入社員用に多めに発注
		文房具	ボールペン (黒×20本)	-3 2018/2/28	

補足

- デジエのライブラリで自動ルックアップフィールドを使用している場合、参照先のライブラリまたはフィールドに閲覧権限がないフィールドの値は、デジエポートレットに表示されません。
- 設定したGaroonポートレットを表示できるユーザーを制限できます。
「Garoonポートレットの表示ユーザーを設定する (デジエでの操作)」 - 15ページ

Garoonポートレットの表示ユーザーを設定する (デジエでの操作)

Garoonポートレットを表示できるユーザーを、デジエの「ガルーンポートレットの設定」画面で制限します。Garoonポートレットの表示ユーザーの設定手順は、次のとおりです。

操作手順:

- 1 「ライブラリ管理」画面で、[ライブラリの基本設定] > [ガルーンポートレット]の順にクリックします。
- 2 「ガルーンポートレットの設定」画面で、表示ユーザーを設定するGaroonポートレットの[表示ユーザー]をクリックします。
- 3 「ガルーンポートレットの表示ユーザーの変更」画面で、Garoonポートレットを表示できるユーザーおよびグループを追加し、[変更する]をクリックします。

3.4 ユーザーが行う操作

Garoonのポータルにデジエポートレットを追加する手順を説明します。

注意

- デジエポートレットの表示では、ログイン情報は無効になります。このため、ログインユーザーに関する設定はすべて無効になります。

補足

- Garoonのシステム管理者がデジエポートレットの使用を許可していない場合、デジエポートレットを使用できません。
「3.2.1デジエポートレットの使用を許可する」 - 12ページ
- デジエでライブラリ管理者が「Garoonポートレット」を設定しているライブラリのみ、Garoonでデジエポートレットを使用できます。
「3.3.1ライブラリにGaroonポートレットを設定する（デジエでの操作）」 - 14ページ
- デジエのライブラリで自動ルックアップフィールドを使用している場合、参照先のライブラリまたはフィールドに閲覧権限がないフィールドの値は、デジエポートレットに表示されません。

3.4.1 Myポータルにデジエポートレットを追加する

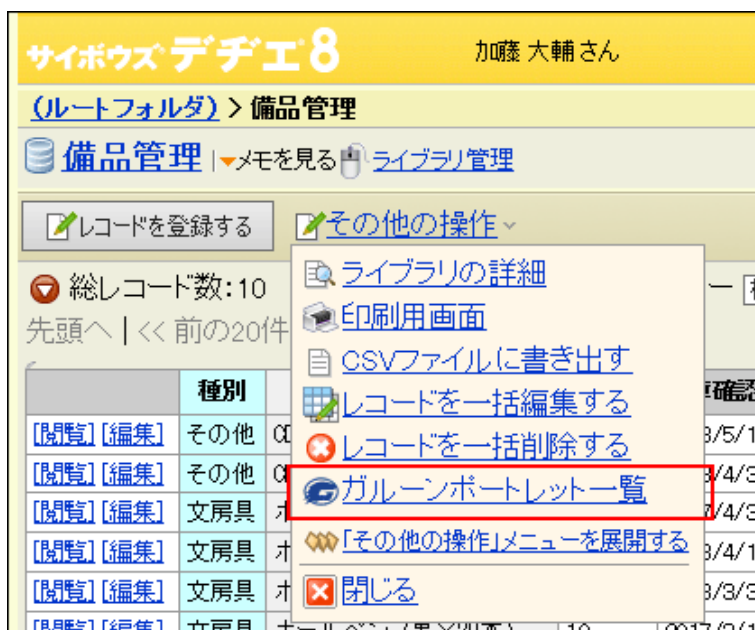
ユーザーがMyポータルでデジエポートレットを使用するために必要な操作を説明します。

デジエでの準備

操作手順:

- デジエポートレットに表示させるライブラリの「レコード一覧」画面を表示し、「その他の操作」メニューから[ガルーンポートレット一覧]をクリックします。

デジエで「その他の操作」メニューを展開している場合は、「レコード一覧」画面で[ガルーンポートレット一覧]をクリックします。



補足:

- ライブラリの設定によって、ツールメニューに「ガルーンポートレット一覧」が表示されない場合があります。ツールメニューに表示する項目の設定については、デヂエの『ライブラリ管理マニュアル』で、「メニューに表示する項目を変更する」を参照してください。

2 「ガルーンポートレット一覧」画面で、表示するポートレットのライブラリコードをコピーします。

サイボウズ デヂエ8 加藤 大輔さん ホーム ログアウト

(ルートフォルダ) > 備品管理

備品管理 | メモを見る | ライブラリ管理

ガルーンポートレット一覧 説明

表示するポートレットのライブラリコードを、サイボウズ(R) ガルーン(R)のポートレットに設定してください。

ポートレット名	ライブラリコード	
備品管理	page=GRNView&did=129&key=shhzzdn6zdt0wurvn7ga9c9yztzolgppptm	プレビューを見る

Garoonでの操作

操作手順:

- 「個人設定」画面で、[各アプリケーションの設定] > [ポータル] > [Myポータルの一覧]の順にクリックします。
- 「Myポータルの一覧」画面で、デヂエポートレットを追加するポータルの[Myポータル名]をクリックします。
- 「Myポータルの詳細」画面で、デヂエポートレットを配置します。
- 手順3で追加したポートレットの⚙️をクリックし、[設定]をクリックします。
- 「ポートレットの設定(デヂエ)」画面で、「デヂエでの準備」の手順2でコピーしたライブラリコードをペーストし、[変更する]をクリックします。

ポートレットの設定 (デヂエ)

デヂエのライブラリをポートレット内に表示できます。

「*」は必須項目です。必ず入力してください。

ライブラリコード*

表示したいライブラリの操作メニュー から「ガルーンポートレット一覧」画面を表示し、ライブラリコードをコピーできます。「ガルーンポートレット一覧」画面は、ライブラリ管理者が「ガルーンポートレット」を設定している場合のみ表示されます。

変更する キャンセルする

3.4.2 システムポータルにデヂエポートレットを追加する

システムポータルにデヂエポートレットを追加するためには、「Administrator」権限が必要です。

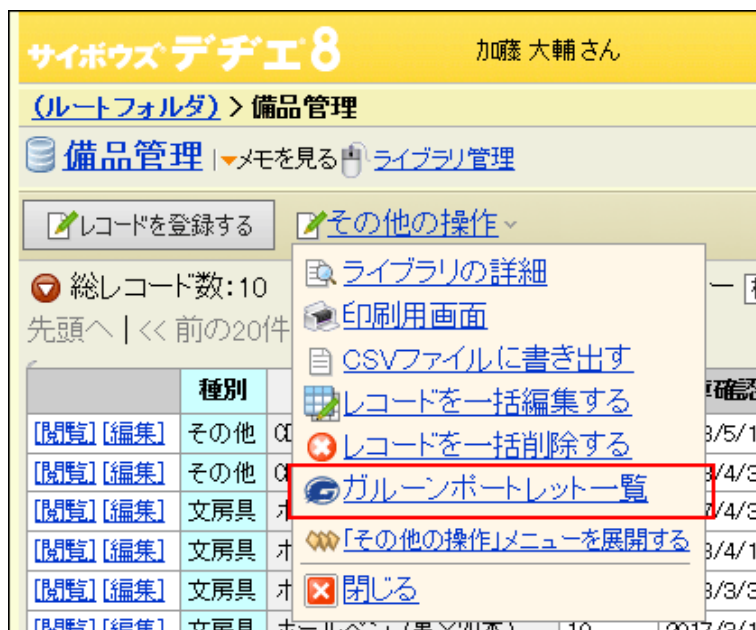
システムポータルに追加したデヂエポートレットは、デヂエに設定したアクセス権にかかわらず、ポータルを閲覧できるすべてのユーザーが閲覧できます。

デヂエでの準備

操作手順:

- 1 デヂエポートレットに表示するライブラリの「レコード一覧」画面を表示し、「その他の操作」メニューから[ガルーンポートレット一覧]をクリックします。

デヂエで「その他の操作」メニューを展開している場合は、「レコード一覧」画面で[ガルーンポートレット一覧]をクリックします。



補足:

- ライブラリの設定によって、ツールメニューに「ガルーンポートレット一覧」が表示されない場合があります。ツールメニューに表示する項目の設定については、デヂエの『ライブラリ管理マニュアル』で、「メニューに表示する項目を変更する」を参照してください。

- 2 「ガルーンポートレット一覧」画面で、表示するポートレットのライブラリコードをコピーします。



Garoonでの操作

操作手順:

- 1 「システム管理」画面で、[各アプリケーションの管理] > [ポータル] > [ポータルの一覧]をクリックします。
- 2 「ポータルの一覧」画面で、デジエポートレットを追加するポータルのポータル名をクリックします。
- 3 「ポータルの詳細」画面で、デジエポートレットを配置します。
- 4 手順3で追加したポートレットの⚙️をクリックし、[設定]をクリックします。
- 5 「ポートレットの設定(デジエ)」画面で、「デジエでの準備」の手順2でコピーしたライブラリコードを貼り付け、[変更する]をクリックします。

ポートレットの設定 (デジエ)
デジエのライブラリをポートレット内に表示できます。

「*」は必須項目です。必ず入力してください。

ライブラリコード*

表示したいライブラリの操作メニューから「ガルーンポートレット一覧」画面を表示し、ライブラリコードをコピーできます。
「ガルーンポートレット一覧」画面は、ライブラリ管理者が「ガルーンポートレット」を設定している場合のみ表示されます。

設定したデジエポートレットを公開する場合は、公開する設定が必要です。初期状態では「非公開」に設定されます。

付録A コマンドラインでユーザー情報を同期する

コマンドラインを使用して、Garoonとデヂエのユーザー情報を同期できます。コマンドラインを使用すると、Windowsのタスク スケジューラやLinuxのcronを使用して、同期の繰り返し条件を設定できます。

注意

- 同期を実行すると、デヂエのユーザー情報が上書きされます。同期したデヂエのユーザー情報は元に戻せません。

補足

- ユーザー情報をコマンドラインで同期する前に、あらかじめユーザー情報の同期を設定する必要があります。「2章 ユーザー情報を同期する」 - 7ページ
- Garoonを複数台のサーバーで運用している場合は、いずれか1台のサーバーでコマンドラインを実行します。

Windows版の場合

Garoonを次のディレクトリーにインストールした場合を例として説明します。

C:¥InetPub¥scripts¥cbgrn

操作手順:

1 コマンドプロンプトを起動します。

2 カレントディレクトリーを次のディレクトリーに移動します。

C:¥InetPub¥scripts¥cbgrn

3 次のコマンドを実行します。

.¥grn.exe -C -q code¥command¥send_user_to_dezie.csp url=(デヂエのURL)

例:

.¥grn.exe -C -q code¥command¥send_user_to_dezie.csp
url=http://dezie.domain.co.jp/scripts/cbdb/db.exe

補足

- コマンドを実行すると、標準出力の内容が次のログファイルに出力されます。
C:¥InetPub¥scripts¥cbgrn¥send_user_to_dezie.log

Linux版の場合

Garoonを次のディレクトリーにインストールした場合を例として説明します。

`/var/www/cgi-bin/cbgrn`

操作手順:

1 コンソールを起動します。

2 次のディレクトリーに移動します。

`/var/www/cgi-bin/cbgrn`

3 次のコマンドを実行します。

`./grn.cgi -C -q code/command/send_user_to_dezie.csp url=(デヂエのURL)`

例:

`./grn.cgi -C -q code/command/send_user_to_dezie.csp url=http://dezie.domain.co.jp/`

`cgi-bin/cbdb/db.cgi`

補足

- コマンドを実行すると、標準出力の内容が次のログファイルに出力されます。
`/var/www/cgi-bin/cbgrn/send_user_to_dezie.log`

付録B ログの出力仕様

ログは、次の構成で出力されます。

[操作][対象][ログの内容]

- 操作:
ユーザーが行った操作です。[modify](変更)、[sync](同期)などがあります。
- 対象:
監査対象のアプリケーション名やモジュール名などが表示されます。
- ログの内容:
操作を行ったユーザーや、ログの対象となったデータなどが、「プロパティ:値」の形式で記述されます。値と値の間は、「,」(カンマ)とスペースで区切られています。

補足

- ログに出力される日付や曜日には、Garoonの初期設定で設定したタイムゾーンが適用されます。

付録B.1 出力されるログ

システム管理

プロパティ

dezielink_available: デヂエ連携の使用(使用する:"true"、許可しない:"false")

url: デヂエのURL

sync_user_available: ユーザー情報の自動同期(設定する:"true"、設定しない:"false")

repeat_type: 繰り返し条件(毎日:1、毎週:2、毎月:3)

repeat_value:

- repeat_typeの値が2の場合は、日曜日:0、月曜日:1、火曜日:2、水曜日:3、木曜日:4、金曜日:5、土曜日:6
- repeat_typeの値が3の場合は、日付(月末の場合は0)

hour: 設定時刻(時)

minute: 設定時刻(分)

portlet_available: デヂエポートレットの使用許可(設定する:"true"、設定しない:"false")

cmd: コマンドラインで同期した場合に出力

対象	操作	深刻度	出力仕様
デヂエ連携	設定	重要情報	[modify] dezielink_setting (dezielink_available:XX, url:XX, sync_user_available:XX, repeat_type:XX, repeat_value:XX, hour:XX, minute:XX, portlet_available:XX)
ユーザー情報の同期	同期	重要情報	[sync] dezielink_sync_user (url:XX, cmd:1)

デジエポートレットの操作

プロパティ

pid: ポータルID

plid: ポートレットレイアウトID

ppid: ポートレットID

url: ライブラリ情報の取得URL

対象	操作	深刻度	出力仕様
デジエポートレット	設定	重要情報	[modify] dezielink_portlet_setting (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, url: XX.)
デジエポートレット	更新	重要情報	[get] dezielink_portlet_data (url: XX)

エラー

プロパティ

error_code: HTTPクライアントが返したエラーコード

error_message: HTTPクライアントが返したエラーメッセージ

status_codeおよびstatus: デジエのWebサーバーが返したステータスコード

url: デジエのURL

fault_code: デジエサーバーが返したエラーコード

fault_string: デジエサーバーが返したエラーメッセージ

対象	操作	深刻度	出力仕様
デジエ連携	コネクション エラー	エラー	dezielink_connection_error(error_code:XX, error_message:XX)
デジエ連携	コネクション エラー	エラー	dezielink_http_error(status_code:XX, url:XX)
デジエポートレット	コネクション エラー	エラー	dezielink_connection_error(error_code:XX, error_message:XX)
デジエポートレット	コネクション エラー	エラー	dezielink_http_error(status:XX, url: XX)
デジエ連携	認証エラー	エラー	dezielink_auth_error (fault_code:XX, fault_string:XX)
エラー		エラー	[プロセスID] エラー番号

付録C エラーメッセージ一覧

Garoonで出力されるエラーメッセージの中で、デジエ連携に関するエラーメッセージは、次のとおりです。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_DZLK_61000	処理を中断しました。	デジエ連携を使用しない設定になっています。	システム管理者にご相談ください。
GRN_DZLK_61001	デジエが動作するサーバーとの接続に失敗しました。	デジエが動作するサーバーとの通信時にエラーが発生しました。通信時のエラーメッセージ:***	デジエが動作するサーバーの状態を確認してください。
GRN_DZLK_61002	処理を実行できません。	デジエとの通信時にエラーが発生しました。HTTP ステータスコード:***	デジエが正常に動作していることを確認してください。
GRN_DZLK_61003	処理を実行できません。	デジエ連携に使用する認証方式が削除または変更されている可能性があります。	デジエ連携に使用する認証方式を確認し、再度設定行ってください。
GRN_DZLK_61004	処理を実行できません。	デジエ連携に使用する認証方式(***)が無効になっている可能性があります。	デジエ連携に使用する認証方式を有効にしてください。
GRN_DZLK_61052	処理を実行できません。デジエのエラー番号:***	デジエサーバーとの通信時にエラーが発生しました。デジエサーバーからの応答:***	ガルーンとデジエで、オープン統合認証 ver.2の設定を確認してください。または、デジエの状態を確認してください。解決しない場合は、お手数ですがサイボウズまでお問い合わせください。
GRN_DZLK_61053	処理を実行できません。	デジエサーバー(***)とユーザー情報を同期中です。ユーザー情報の同期処理は、同時に複数実行できません。	実行中の同期処理が終了してから、再度処理を実行してください。
GRN_DZLK_61100	デジエポートレットの登録に失敗しました。	デジエポートレットの使用が許可されていません。	システム管理者にご相談ください。

お問い合わせ先 https://garoon.cybozu.co.jp/support/user_package/
発行日 2018年12月10日 第4.1版発行
発行者 サイボуз株式会社

© Cybozu